



アジアのトップから 世界のトップへ

From the top of Asia
to the top of the world.

台湾・アカデミアシニカと シンポジウムを開催

熊本大学グローバルCOE「細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット」(以下:熊大G-COE)では、国外の研究機関などとの交流を図るために、アメリカやエジプト、オーストラリアなどの諸外国の大学や研究機関と、ジョイント国際シンポジウムを開いています。このたび、台湾トップの学術研究機関アカデミアシニカとの友好関係を深めるため、4月8日-9日に熊大G-COE とアカデミアシニカの共同で、第2回目となる国際シンポジウム「Academia Sinica - Kumamoto University Joint conference on Organogenesis」を開催しました。

第1回は昨年4月、熊本にアカデミアシニカから6名の研究者を招き、熊本大学で開催しました。今回は、熊大G-COEから12名の研究者がアカデミアシニカを訪問し、研究発表やレセプションを通じて、アカデミアシニカの研究者と交流を図りました。

共同研究の未来 アジアを世界の拠点に

熊大G-COEは、今回のシンポジウムを通して、アカデミアシニカとの友好関係をさらに深め、将来的には共同研究の実現につなげま

す。また、これを実現させ、アジアに世界最高水準の細胞系譜制御研究拠点を置くことを目指しています。

国際的に卓越した細胞系譜制御研究を進める熊大G-COEと分子細胞医学研究を進めるアカデミアシニカ。この二つの機関が進める研究は、研究のスコープが近く、興味の対象やアプローチなど多くの共通点があります。地理的に時差がほとんどないというメリットを生かしながら、両者のこれまでの実績、技術、優秀な人材、研究設備を融合させること。それは、競争が激化する細胞系譜制御分野においても、またアカデミアシニカにとっても、アジアの拠点として国際競争力を強化することにつながります。両者が連携し、互いの研究を補完しながら、今以上に研究の質を向上させることで、世界レベルの高度な研究を実現させ、社会的波及効果の高い研究成果が期待されます。

このシンポジウムをきっかけとして、共同研究の実現に向けた一歩を踏み出し、新たなプロジェクトも動き始めました。

また、レセプションの中でも、共同研究の実現に向けた具体的な議論が交わされ、若手研究者の留学における課題などについて、活発な議論が交わされました。ここで明らかになった課題に積極的に取り組み、優秀な人材の確保につなげます。